

大多喜町 低炭素社会づくりシンポジウム

地域の人々と考える森林・竹林の活かし方

一般社団法人 efco.jp は、千葉県中部の豊富な地域資源である森林・竹林を地域の人々が自ら活用することをテーマに、標記のシンポジウム（略称：11.8 シンポジウム）を行います。

かつては建築用の木材として、薪・炭などの燃料として、また木工・生活用品の素材として、広く利用されていた木・竹ですが、外国産材や化石燃料、石油製品などに押されて使用が減り、森林・竹林には人々の手が入らなくなりました。里山は荒れ、田畑はイノシシやシカ、サルなどの獣害に脅かされています。人口減少が進む中、地域で行われていた仕事は少なくなり、農林業の担い手も減っています。そんな状況を変えて、いま再び里山の豊かな恵みを、地域の人々の手に取り戻してもらいたいと思います。

地球環境保全のため、化石燃料の使用を減らして温暖化防止を図ろうと、世界的にバイオマスエネルギーが注目されています。科学技術の進歩により、CLT や CNF 等による木・竹の新しい活用法も生まれています。森林・竹林には高いポテンシャルがあります。それを生かした低炭素社会づくりへの取り組みを通して、里山の再生と地場産業の振興へつなげることができればと思います。

シンポジウムでは、国の施策や成功事例等の講演とともに、車座トークリレーで、地元・周辺地域の方々に専門家を交えて、ざっくばらんに話し合ってもらいたいと思います。話だけで終わることなく、具体的な実行の方法を見つけ、地域ビジネスにつなげたいと思います。放置された竹林から竹炭を作り土壌改良剤とする等の竹エネルギーの活用法のデモンストレーションも行う予定です。

●日時 2015年11月8日（日）9:30~16:00

●会場 旧大多喜町立老川小学校（廃校活用プロジェクト実施中）

千葉県夷隅郡大多喜町小田代 524-1

地図→ <http://yahoo.jp/Run0yq>

※東京方面からの交通：小湊鉄道の最寄り駅などから送迎します。



●プログラム

(1) 9:30~9:55 オープニングセレモニー

来賓挨拶：沼田正俊氏（前林野庁長官）、ほか

(2) 10:00~10:20 屋外デモンストレーション

実演：「竹エネルギーの活用法—竹炭づくり」鹿嶋與一氏（NPO 法人竹もりの里代表）、ほか

(3) 10:20~11:50 講演・質疑

講演：「低炭素社会のための木材利用」吉本昌朗氏（林野庁林政部木材利用課企画調整班 課長補佐）

「地域の産業創出と千葉県の林業」近藤亮介氏（Bio フォレステーション株式会社 社長）

(4) 12:30~14:30 車座トークリレー（14:40~15:40 エコ・フューチャーセッション）

「地域資源の森林・竹林を活用した低炭素社会づくり」

出演：大多喜町長 飯島勝美氏、大多喜町観光協会長 富澤清行氏、老川地区開発協議会長 小倉慶二郎氏、いすみ自然エネルギー株式会社代表 藤江信一郎氏、市原市バイオマス利活用推進協議会委員 高澤真氏、きみつ里山ネットワーク代表 萩野保氏、勝浦市議会議員 鈴木克己氏の他、大多喜町の方々（老川地区区長会、大多喜町議会等）、周辺のいすみ市・市原市・君津市・勝浦市・長南町の方々、千葉県内・東京都内などの方々を予定

コメンテーター：米谷栄二氏（NPO 蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク副理事長）、河合純男氏（みなかみ地域エネルギー推進協議会事務局長）、松浦晃氏（つくば林業株式会社代表）、澤山弘氏（帝京大学教授）、手塚信利氏（株式会社スターリングエンジン会長）、ほか

モデレーター：杉浦英世氏（全国地域エネルギー推進協会事務局長、農都地域部会代表、一社）efco.jp 理事）

●主催 一般社団法人 efco.jp 【11/7・8 低炭素社会づくりイベント専用サイト：<http://event.efco.jp/>】

●後援 大多喜町、大多喜町教育委員会、一般社団法人大多喜町観光協会

●協力 K-BETS、全国地域エネルギー推進協会、農都地域部会バイオマス発電事業化促進 WG、ほか

●連絡先 E-mail：chienekyo@gmail.com 電話：080-5485-1440（担当：杉浦） [Facebook](#)

※本会は環境省 27 年度地域における草の根活動支援事業により行います。一部内容が変更になる場合もあります。